

Vol.72

院長 関の

Face to Face

2014年 6月 1日発行



前回から4回シリーズでお伝えしている「甲状腺」のお話の最終回です。福島で子供達に急増している甲状腺癌、甲状腺は大切な臓器で、子供が甲状腺を癌で侵されるのはとても深刻な問題だということをご理解いただけたいと思います。

甲状腺は何をする？ (4)



つては性質が全く異なりま
す。再発率や生存率にも差
があり、治療法も異なります。
大変複雑な甲状腺の病変の
診断や治療にあたる医師に
は、専門的な知識や豊富な
経験が求められます。また
治療には内科と外科の知識
の両面も求められます。

診察の基本は次の通り。

問診と触診が基本

血液検査でホルモンや抗

体の状態を見る

エコー、シンチグラムな
どの画像診断
必要であれば組織検査
そのほかきめ細かな診察が
必要です。
内分泌系の病気は慢性疾患
です。長い年月診て行く必
要があります。女性の妊娠
や出産にも深く関わりま
す。
「切っておしまい」ではない
のです。国の仕事は、原発の
せいじゃないことを証明す
ることではありません。実
際に急増している子供達の
甲状腺疾患を食い止める体
制、早期に発見する体制、精
神面、肉体系とも一生涯か
かってフォローする体制を
とらねばならないのではな
いでしょうか。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立
を目指す。タイトルの「face to face」
は、患者さん自身と向き合って患者
さんの症状と闘うことを願ってつ
けた * 毎月1日の発行です